

パキスタンにおける当社初の高層 RC 造の建設

Construction of the First High-Rise RC Building by Our Company in PAKISTAN

菊池 孝守^{※1} 藤澤 建^{※1} 窪内 勝^{※1}
Kikuchi Takamori Fujisawa Ken Kubouchi Katsu

1.国際支店 PAK カラチ気象台作業所

キーワード カラチ 気象台 RC 15F パキスタン 高層

概要

RC 造 15 階建ての高層建築物をパキスタン国に於いて、当社で初めて建設したので、仮設計画及び躯体施工計画を主に報告する。建物は、最高高さ 73.5m で、建築面積が 176.18m² と細長い建物であるのと、中間階にスラブがない形状の建物であった。そのため、資材の揚重の効率化のため、型枠や、鉄筋を地上面で組立て揚重し、取り付ける工法を用いた。作業においても、鉄筋型枠作業を、昼と夜に分けて作業することにより、狭いスペースでの作業効率を向上させた。コンクリートも大型車両の通行制限のため、夜間 10:00～翌 7:00 と限られており、揚重回数を減らすために大型のコンクリートホッパーを製作することとした。仮設足場は、中間階に H 型鋼を取り付け、足場を上層階と低層階に分断することにより、建地補強をなくし、張り出し荷取りステージを取付、型枠材の転用と足場材の仮置きスペースとして計画した。

成果

- 日本のように資材や機械が豊富に種類のないところで、RC 高層の建築物施工を実現させた。
- 外部足場を、上層と下層に分断することにより、作業に十分なスペースが確保され、精度の高い躯体施工が出来た。
- 昼夜の 2 交代制作業を採用することで、限られたスペースでの作業効率を上げ、工期の遅延も避けられた。



写真-1 完成写真



写真-2 建物内部（見上げ）